

市ホームページ掲載内容

雲南市 DX 推進計画(案)に関するパブリック・コメント(意見募集)の結果及び意見・提案に対する市の考え方について

1. 公開した資料 雲南市 DX 推進計画(案)
2. 意見募集期間 令和7年1月6日(月)～令和7年2月7日(金)
3. 資料等公開場所 市役所政策企画部政策推進課、各総合センター自治振興課及び市民サポート課、雲南市ホームページ
4. 意見提出人数 2人
5. 意見提出件数 8件
6. お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方

No.	提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
1	<p>【雲南市DX推進計画策定の背景と目的について】</p> <p>生産年齢人口の減少など人手不足を前提とされているが、(例えば市役所の職員不足について)人手不足を解消する議論やアイデア出しが真剣になされているでしょうか。AIやロボットに頼らずとも解消できるアイデアや事例は、たくさん存在すると認識しています。</p>	<p>窓口体験調査や職員提案等により、業務効率化に向けた議論を実施しています。</p> <p>業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上を目指し、デジタル化・DX化と並行して検討を進めて参ります。</p>
2	<p>【えすこに創る(価値創造)について】</p> <p>ロボットに仕事をとって変わられたら、雇用の機会を奪うことになるのではないかと心配です。人のつながりを大切にすると謳われている一方で、人のつながりを失くす方向に走っているようにも感じます。</p> <p>「不便」によって人のつながりやビジネスが生まれるので、なんでもかんでもDX化で解決しようとし、地域社会のメインエンジンとして起用するのは気になるところです。なお、住民さんに安心感を持ってもらうという観点から、セーフティネットとして取り扱うのは問題ありません。</p> <p>まとめると、時代の良い潮流に乗る内容については、本当に素晴らしい計画だと捉えています。その上で、DXの違う側面にも目を向けて、慎重に計画を進めて頂きたいと思います。</p>	<p>人口減少をはじめ、時代や社会の様々な変化に適応していくためには、デジタルの力もうまく活用しながら、多様な方が暮らしやすい、働きやすい環境をつくっていくこと重要であると考えています。</p> <p>デジタル化・DX化は手段であり、目的ではないことから、効率化・省力化の観点のみを優先し、「人と人」とのつながりが失われることがないように、いただいたご意見も参考にしながら、取り組みを展開して参ります。</p>
3	<p>【マイナンバーカードの普及促進・利用の推進</p>	<p>マイナンバーカードに関連するデータの管理</p>

	<p>【について】</p> <p>マイナンバーカードのデータは米国企業で保管されるのではないのでしょうか。データの保管・管理が、国内プラットフォームならば納得しますが、情報を抜かれるなどの被害が多発して困っている人が多い現在の社会では、尚更、海外によりデータ保管には危険を感じざるを得ません。</p>	<p>は、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)によって行われており、J-LISは総務省・デジタル庁の所管で、地方公共団体と連携して情報システムの構築や運営を担っています。J-LISは、地方公共団体の情報化推進やマイナンバー制度関連のシステム構築支援など、数々の重要な事業を実施しており、その運用は厳密に管理されています。</p> <p>そのため、マイナンバーカードに関するデータは、国内の公的機関によって保管・管理されており、セキュリティやプライバシー保護についても十分な配慮がなされていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
4	<p>【農業の振興について】</p> <p>「勤と経験に基づく農業」こそが、代々伝わる技術の継承であり文化や伝統を大切にする雲南市の心ではないのでしょうか。からだを作る健康・食に大きく関わる農業こそ、人の手で行うべきだと思います。ただし、ケガ等のリスクが高い作業などはDXの導入が有効かもしれません。</p>	<p>農業の根源には過去から伝承されてきた様々な技術や知恵が存在します。</p> <p>一方、現在の農業は、生産性や収益性の向上を目指すため、農機具機械を活用した経営となっています。</p> <p>これからは、農業人材の減少が進む中においては、省力化に向けたDXの取り組みも必要となってくるものと考えます。</p>
5	<p>【ケーブルテレビ・FTTH～インターネットについて】</p> <p>雲南市・飯南町事務組合のCATV部門は、難視聴対策を目的に設置されました。よって、その目的を継続・維持する目的以外の番組制作及び各種放送、契約者の管理、などの事業を行政で行う必要を全く感じません。松江市や出雲市のように民営化すべきと考えます。また、三刀屋斎場のように指定管理制度を導入する方法もあるかと思えます。</p>	<p>雲南市のケーブルテレビは、民間事業者参入が困難な地域の難視聴対策と定住対策として市町村合併前から各町で共同して開局し、現在は雲南市・飯南町事務組合においてテレビ放送、音声告知放送、インターネット接続サービスを提供しています。</p> <p>今後の事務組合の在り方については事務組合、飯南町も交え検討してまいります。</p>
6	<p>【情報発信、オープンデータについて】</p> <p>公式LINEを利用していますが、イベント情報も気象・防災情報も道路の情報もすべて同じアカウントから流れてくると、情報がまぎれ重要度が伝わりにくい気がします。</p> <p>防災ラジオで流すような情報については、別の公式アカウントを作られてはいかがでしょうか。</p>	<p>公式LINEについては、令和3年の開始以降登録者数を伸ばし現在では約3,800人の方に登録頂いています。</p> <p>公式LINEでは市の各種情報を効果的に登録者へ伝えるため、毎週金曜日にまとめて配信することとしています。防災情報等の安全安心にかかわる情報は多様な情報媒体(防災無線・音</p>

		<p>声告知放送・ホームページ・安全安心メール・フェイスブックなど)により発信することで市民の皆様が情報を取得する機会が増えるよう努めております。また、公式LINEにおいてもこのような情報については随時配信しているところですが、ご意見のように重要な情報がまぎれないよう配信方法について工夫してまいります。</p>
7	<p>【住民と行政との接点(フロントヤード)改革の推進について】 公共施設の利用予約のデジタル化について、旧小学校施設も進めてほしいです。現在は、空き状況を平日の日中に交流センター等に電話等で問合せ、紙の申請書を提出するという手続きですが、例えばインターネット等で申請、利用報告ができれば、利用者の利便性も向上しますし、受付を行う交流センターや、集計・請求業務を行う市役所の業務負担軽減にもつながると思います。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、利用者の利便性向上はもとより、施設管理者および市の業務効率化にもつながることですので、公共施設全体において検討を進めていきたいと考えております。検討においては、各施設の受付状況など把握するとともに、システム導入の場合は初期経費や維持経費も判断材料となりますので、利便性と効率化、投資の費用対効果を精査し実現に向け調整して参ります。</p>
8	<p>【えすこに暮らす(スマートごみ収集について)】 「過疎地域での物流の維持が大きな課題」とありますが、モノを届けるだけでなく、ごみの収集にも課題があると感じています。高齢の方はゴミ捨て場までゴミを運ぶのに苦労されています。一方でごみ収集も限られた人員で効率的に進めなければならない、ゴミ捨て場を増やすことはできません。 スマート物流のなかに、スマートごみ収集も加えることができないでしょうか。</p>	<p>スマート物流では、地域の課題解決に向けて、住民サービスを組み合わせて実施していくこととしています。 しかし、スマート物流は買い物代行やフードデリバリーなど食品を扱うものが主流であり、衛生面や安全面の配慮が必要なゴミを扱うことは、本計画には適していないと考えております。 高齢者のゴミ収集については、ご意見のとおり効率性やコスト面等の課題がありますが、ゴミの収集処理事務を行っている雲南市・飯南町事務組合も交え、調査研究を進めて参ります。</p>